

## 頼れる！鶴見・川崎 街のセンセイ



鶴見・川崎で、地域住民の健康を見守るお医者さんや治療院の先生にスポットを当てるこのコーナー。今回は、鶴見区で妊婦さんや女性を支え続ける浅川産婦人科の浅川恭行さんの登場です。

vol.18 | 浅川産婦人科 理事長・院長 浅川恭行さん

### 患者さん中心の診療方針で支え合う 産前産後の心のケアも担う産婦人科

横浜市鶴見区で昭和11年に開業し、地域に密着した婦人科治療や妊婦さんを見守り続ける浅川産婦人科。患者さん一人ひとりを病院に携わる全スタッフが支え合う診療を続け、年間700~800件のお産を行っています。大学病院とほぼ同レベルの最先端の診断や診療が受けられ、さらに、診療所と病院がお互いに連携しながら、効果的な医療を提供する「病診連携」を実施。患者さんの病状によって済生会横浜市東部病院や川崎市立川崎病院、横浜市大センター病院と連携を取って患者さんを見守ります。最近では心を痛めている妊婦さんやお母さ

んの増加とともに、産前産後の「心のケア」に力をいれています。お産の体験談を聞く会や母親学級といったさまざまな教室を開催。併設されたホールで行っている生後2ヶ月までのあかちゃんとお母さんの相談会「浅川っ子」や産前産後のヨガ、ベビーマッサージ、骨盤体操は人気です。「元気な赤ちゃんを産んで自宅へ家族そろって戻るときが一番の喜びです。女医さんも多いので気軽に婦人科に来てもらえたら嬉しいです」とみんなに優しい院長の浅川さん。鶴見になくてはならない産婦人科です。



「産婦人科では珍しいんですが、月に数回高齢者や介護施設での往診をしています」と話す浅川さん。車で15分以内なら電話で受け付けてくれるそうです



患者さんに少しでもリラックスしてもらえるように、院内はアットホームな雰囲気。自宅にいるような居心地の良い空間が患者さんを迎えてくれます

**DATA** 【住】横浜市鶴見区豊岡町22-15

【交】JR「鶴見」駅西口から徒歩3分

【電】045-581-3541・3551

【時】[月~金]9:00~12:00、16:00~19:00、

[土]9:00~12:00

【休】日曜日・祝日／【駐】有(8台)